

# Let's 居住地校交流

## その8



「居住地校交流」とは、本校の児童生徒(希望者)が、自分が住んでいる地域の小・中学校に出向き、同年代の友達と一緒に学習する交流及び共同学習です。

地域での人間関係を広げ、豊かに暮らしていくことをねらいとしています。



令和5年2月  
追分小学校にて

5年生のHさんが、総合的な学習の時間「なかよく遊ぼう」の学習に参加しました。朝からとても楽しみにしていたHさん、ワークショップ形式でいろいろなゲームコーナーを友達と一緒に回りました。毎年交流を続けてきた子どもたちの付き合いも5年目になり、温かさが感じられる素敵な交流となりました。



Hさんのために、追分小の友達が魚釣りやボウリングなどいろいろなゲームコーナーを準備してくれました!

(保護者の方より)

朝からとても楽しみにしていました。皆さんが楽しもうという姿が見られてよかったです。

(追分小学校の友達より)

Hさんが来てくれるのをずっと待っていました。Hさんの笑顔が見られてうれしかったです。来年も待っています。

(追分小学校の先生より)

毎年続いている交流で、楽しみにしていた子どもたち。プレゼントの折り紙をもらう姿やお母さんとハイタッチする姿が見られ、子どもたちそれぞれが満足した様子でした。

